

10年後の金沢を考えるワークショップ

金沢の未来において重要な5つのテーマ

①暮らしづくり ②人づくり ③魅力づくり ④仕事づくり ⑤都市づくり

において、今後のまちづくりのアイデアや方向性を考える市民参加型のワークショップを開催し、その成果を新たな都市像の検討に活かしていきたいと考えています。市民の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

参加者
募集

開催期間 令和4年10月～令和5年2月 テーマごと全5回

会場 金沢未来のまち創造館 多目的室 (金沢市野町3丁目11-1)

参加者 定員20名程度/回 (5名程度×4グループ)

※申込多数の場合は抽選

テーマ①

暮らしづくり

(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心)

令和4年10月15日(土)

13:15～17:00(13:00～受付)



テーマ②

人づくり

(子育て、教育、生涯学習)

令和4年11月13日(日)

13:15～17:00(13:00～受付)



テーマ③

魅力づくり

(文化・芸術、観光)

令和4年12月17日(土)

13:15～17:00(13:00～受付)



テーマ④

仕事づくり

(新事業創出、産業振興)

令和5年1月21日(土)

13:15～17:00(13:00～受付)



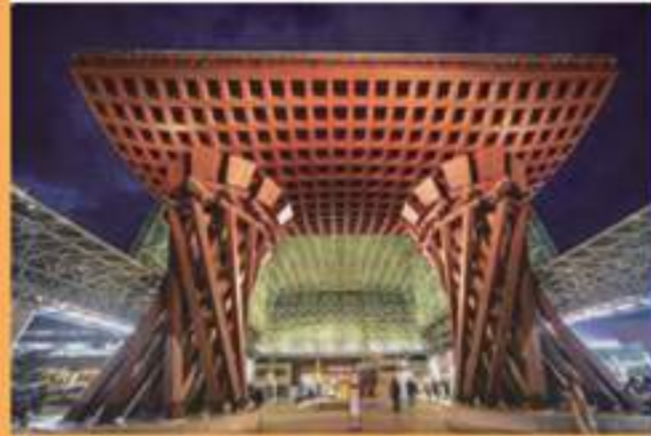
テーマ⑤

都市づくり

(都市基盤、交通)

令和5年2月25日(土)

13:15～17:00(13:00～受付)



当日の様子は、
金沢市公式
YouTubeチャンネルでも
配信予定!



※視聴に伴う通信費はご負担ください

Kanazawa
After 10 Years

詳しくは中面をご覧ください

ワークショップについて

ワークショップ開催趣旨 ワークショップの成果を、新たな都市像の検討に活かします

- 金沢市では、市政を取り巻く様々な環境の変化を踏まえ、概ね10年後を目標年次とする新たな都市像の策定に向けて、今年度は市民や多様な主体から、今後のまちづくりに関する意見を幅広く聴取します。
- この取組の一環として、市民等から各テーマにおける今後のまちづくりのアイデアや方向性を聞き取るため、市民参加型のワークショップを開催します。
- ワークショップの成果は、新たな都市像の検討や、今後の政策立案等に幅広く活用いたします。

ワークショップの内容 参加者がグループワークにより、ともに考え、アイデアをまとめます

- ワークショップの大まかなタイムスケジュールは次の通りです。
- アドバイザーの講演を一つの視点または刺激として、グループワークにて意見やアイデアを出し合い、まとめる作業を行います。

当日プログラム

1 全体説明

2 アドバイザー講演 [30分]

それぞれのテーマにおいて、他都市での経験があり、且つ金沢で実際にご活躍しているアドバイザーより、「外からの視点」で金沢の現状や未来への思いをお話しいたします

3 グループワーク [150分]

グループワークの実施方法

- 1グループにつき5名程度に分かれていただきます。グループ構成はお申込み時のご希望をもとに事務局で割り振ります。
- 各テーマごとに、「金沢市の強み・弱み」、「守りたいもの・変えたいもの」、「10年後へのシナリオ」などを話し合い、「10年後どのようになっていると良いか、そのためにはどうしたらよいか」等をまとめていただきます。

4 成果発表・講評 [30分]

グループワークでまとめた成果を、それぞれ発表いただきます

ワークショップ参加心得 10のポイント

今回のワークショップは初めて会う多様な年齢層の方同士が、意見やアイデアを出し合う場になります。

楽しく有意義なものにするために、次のポイントを意識して進めましょう。



その ① 参加者全員が、積極的に、意見やアイデアを出し合おう!

その ② 他の人の意見は、最後まで聴こう!

その ③ 他の人が話しているときは、頷きや相槌で、聞いている態度を示そう!

その ④ 他の人の意見や考えを、頭ごなしに否定しない!

その ⑤ 他の人の意見を認めた上で、自分の意見を言おう!

その ⑥ 発言内容は、分かりやすく簡潔に!

その ⑦ 特定の人だけが長々と、何度も話をしない!

その ⑧ 事実に基づき、自信をもって発言しよう!

その ⑨ 意見や考えがまとまらない場合は、それを表明すればOK!

その ⑩ 心身を開いて、楽しもう!

テーマ①

暮らしづくり (福祉、環境、コミュニティ、安全・安心)

令和4年10月15日(土) 13:15 ~ 17:00 (13:00 ~受付)

グループワークのサブテーマ

- A 誰もが生き生きと暮らせる環境づくり
- B 環境保全・ゼロカーボンシティの推進
- C 地域コミュニティの活性化
- D 安全・安心な暮らしづくり

(アドバイザー) (一社) TryAngle 代表 須田麻佑子

テーマ②

人づくり (子育て、教育、生涯学習)

令和4年11月13日(日) 13:15 ~ 17:00 (13:00 ~受付)

グループワークのサブテーマ

- A 子育て環境の充実
- B 次代を担う子ども達の育成
- C 若い世代の活躍促進
- D 生涯学習の充実

(アドバイザー) 子育て向上委員会 代表 長谷川由香

テーマ③

魅力づくり (文化・芸術、観光)

令和4年12月17日(土) 13:15 ~ 17:00 (13:00 ~受付)

グループワークのサブテーマ

- A 伝統文化の継承・発展
- B 文化芸術に触れる環境づくり
- C 新たな文化の創造
- D 魅力発信と誘客促進

(アドバイザー) galleria PONTE ガレリアポンテ 代表 本山 陽子

テーマ④

仕事づくり (新事業創出、産業振興)

令和5年1月21日(土) 13:15 ~ 17:00 (13:00 ~受付)

グループワークのサブテーマ

- A 社会的課題の解決に向けた事業の創出
- B 他地域との連携による新たな価値創造
- C 働きやすい環境づくり
- D 地場産業の振興

(アドバイザー) 金沢大学融合研究域融合科学系 教授 東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授 金間 大介

テーマ⑤

都市づくり (都市基盤、交通)

令和5年2月25日(土) 13:15 ~ 17:00 (13:00 ~受付)

グループワークのサブテーマ

- A まちなみ・景観の保全・継承
- B 人々が集まる、まちなか(中心市街地)の創出
- C 住みよい環境づくり
- D 市民生活を支える持続可能な公共交通

(アドバイザー) 金沢工業大学建築学部建築学科 教授 宮下 智裕

アドバイザー プロフィール

① 須田麻佑子 (一社) TryAngle 代表



石川県加賀市生まれ。関東在住後、2016年に家族で金沢にJターン。障害者の就労支援や、児童発達支援・放課後等デイサービスを行うヴィスト株式会社にて広報業務を担当する傍ら、(一社) Try Angleの代表として医療的ケア児者の旅行支援を行っている。金沢市移住者ネットワークメンバー、金沢の子育て・教育を考える懇話会委員(2018)、第2期金沢版総合戦略策定ワーキング委員(2019)など。

② 長谷川由香 子育て向上委員会 代表



新潟県生まれ。米ニューヨーク州立大学ビンガムトン校経営学部卒業。帰国後、食品メーカーの海外プロジェクト室に勤務。結婚・出産を機に金沢に移り住む。子育てをしながら自分のペースで働きたいとの思いで、2009年に株式会社アスタリスクを設立。金沢版総合戦略推進委員会委員(2015年~)、金沢市子ども・子育て審議会委員(2013年~)など。

③ 本山 陽子 galleria PONTE ガレリアポンテ 代表



大阪府生まれ。金沢美術工芸大学大学院芸術学専攻修了。10年の画廊勤務を経て、2008年galleria PONTEガレリアポンテを開廊し2022年1月より金沢21世紀美術館にほど近い里見町へ移転リニューアルオープン。今を感じながらも普遍性を持つ作家の展覧会を開催している。2016年よりatelier&gallery creava(金沢市長町)の統括ディレクターを兼務。2017年より国内唯一の工芸に特化したアートフェア[KOGEI Art Fair Kanazawa]の副実行委員長を務める。

④ 金間 大介 金沢大学融合研究域融合科学系 教授 東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授



北海道生まれ。横浜国立大学大学院(博士(工学))、パージニア工科大学大学院、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、文部科学省科学技術・学術政策研究所、北海道情報大学、東京農業大学などを経て2021年より現職。主な研究分野はイノベーション論、マーケティング論、モチベーション論等。主な著書に『先生、どうか皆の前でほめないで下さい: いい子症候群の若者たち』(東洋経済新報社)、『イノベーション&マーケティングの経済学』(中央経済社)など。金沢市新産業創出アドバイザー、金沢市ものづくり戦略推進会議委員など。

⑤ 宮下 智裕 金沢工業大学建築学部建築学科 教授



静岡県生まれ。南カリフォルニア建築大学大学院、芝浦工業大学大学院(博士)修了。金沢工業大学准教授を経て、2022年より現職。専門は、地方創生、意匠設計、建築構法。地球環境にやさしい地域や建築を探究。景観審議会、計画部会、用水みち筋部会、建物部会、木の文化都市を創出する金沢会議委員など長年に渡り金沢市の景観政策に携わる。

コーディネーター プロフィール

(全回) 大場 吉美 金沢学院大学 名誉教授



金沢美術工芸大学卒業後、デザイナーとして、平面から空間演出まで多彩な表現活動を展開し、デザインの振興発展に貢献。金沢市民芸術村の創設に尽力するほか、数多くのプロデュースや企画デザインを担当するとともに、海外で石川グラフィックデザイン展をコーディネートするなどデザインの啓発活動にも力を注ぎ、デザインの多様な働きを求めている。また、金沢学院大学教授として、多年にわたり後進の指導育成に尽力している。

参加者募集のご案内

対象 18歳以上で、金沢市内に在住又は通勤・通学されている方

定員 各テーマ20名程度(5つのテーマで、合計100名程度)

※多くの方に参加いただくため、一人1テーマの参加となります。

※定員を超えるお申込みがあった場合は、参加者の年齢構成を優先した上で抽選とします。

年齢構成：〔40代未満〕10名、〔40代以上〕10名

グループ構成 各テーマ5名程度×4グループでグループワークを行います

※お申込み時に、希望するテーマ(第1希望・第2希望)と、その中で興味のあるサブテーマ(第1希望・第2希望)をお選びください。

※グループ構成は希望されたテーマを基に事務局で割り振ります。

テーマ	サブテーマ	
①暮らしづくり (福祉、環境、コミュニティ、安全・安心)	A 誰もが生き生きと暮らせる環境づくり C 地域コミュニティの活性化	B 環境保全・ゼロカーボンシティの推進 D 安全・安心な暮らしづくり
②人づくり (子育て、教育、生涯学習)	A 子育て環境の充実 C 若い世代の活躍促進	B 次代を担う子ども達の育成 D 生涯学習の充実
③魅力づくり (文化・芸術、観光)	A 伝統文化の継承・発展 C 新たな文化の創造	B 文化芸術に触れる環境づくり D 魅力発信と誘客促進
④仕事づくり (新事業創出、産業振興)	A 社会的課題の解決に向けた事業の創出 C 働きやすい環境づくり	B 他地域との連携による新たな価値創造 D 地場産業の振興
⑤都市づくり (都市基盤、交通)	A まちなみ・景観の保全・継承 C 住みよい環境づくり	B 人々が集まる、まちなか(中心市街地)の創出 D 市民生活を支える持続可能な公共交通

申込締切 令和4年9月26日(月) ※定員に満たなかった場合は、二次募集を行う場合があります。

注意事項 ワークショップの様子は「金沢市公式YouTubeチャンネル」で配信予定です。また当日の様子(写真を含む)を金沢市のホームページで公開します。当募集にて取得した個人情報は厳重に管理し目的外使用は行いません。

お申込み・お問合せ先

金沢市役所 都市政策局 企画調整課 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

TEL 076-220-2031 FAX 076-264-2535 Eメール kikaku@city.kanazawa.lg.jp

申込方法

いずれかの方法にてお申込みください。

①参加申込フォーム(下記URLもしくは右記2次元コード)からお申込みください。
URL: <https://forms.gle/86F2j6t9wzmX2F3j9>

②下記お申込書に必要事項を記載し、申込先まで直接持参いただくか、FAXまたはEメールにてご送付ください。



申込結果 お申込みの結果は、10月上旬にメール(メールアドレスの記載がない方には郵送)にてご案内します。

お申込書(FAX・Eメール・持参用)

お名前	年齢	通勤・通学先
ご住所 〒	歳	
メールアドレス	電話番号	

希望するテーマ、興味のあるサブテーマをそれぞれ第2希望までお選びください。(グループ構成の参考にします。)

テーマ(①～⑤から選択)	サブテーマ(A～Dから選択)	
	第1希望	第2希望
第1希望	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤	A ・ B ・ C ・ D
第2希望	① ・ ② ・ ③ ・ ④ ・ ⑤	A ・ B ・ C ・ D

※中面記載の「ワークショップ参加心得 ⑩のポイント」を必ずお読みください。